

第108回リニアドライブ技術委員会議事録案

日時：平成20年2月1日(金) 13:30～16:30

場所：電気学会第1～3会議室

出席者：委員長 小豆澤(神戸大)

副委員長 北野(JR東海)

委員 伊藤(日立製作所), 岩松(鉄道総研, 代理長嶋), 海老原(東横女短大),
大崎(東京大), 坂井(安川電機), 脇若(信州大), 渡辺(FDK),
増澤(茨城大), 矢野(産総研), 森下(東芝), 平田(大阪大)

幹事 村井(JR東海)

幹事補佐 鳥居(武蔵工業大)

提出資料

- 108-1 第107回リニアドライブ技術委員会議事録案(鳥居幹事補佐)
- 108-2 リニアドライブ技術委員会名簿(鳥居幹事補佐)
- 108-3 第87回(H19年度第3回)産業応用部門研究調査運営委員会報告(小豆澤委員長)
- 108-4 交通・電気鉄道/リニアドライブ合同研究会(北野副委員長)
- 108-5 平成19・20年度リニアドライブ関連各委員会予定一覧(鳥居幹事補佐)
- 108-6 LD技術委員会傘下の各委員会の資料提出スケジュール(村井幹事)
- 108-7 平成19年優秀論文発表賞受賞者(報告書)(北野副委員長)
- 108-8 平成20年電気学会産業応用部門大会シンポジウム(案)提案用紙(矢野委員)
- 108-9 電気学会電子図書館(小豆澤委員長)
- 108-10 メーリングリスト活用のご案内(小豆澤委員長)
- 108-11 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会解散報告書(案2)(矢野委員)
- 108-12 平成19年度リニアドライブ技術委員会活動報告(小豆澤委員長)
- 108-13 平成20年度(H20年4月～H21年3月)活動計画(3次案)(小豆澤委員長)
- 108-14 平成20年電気学会産業応用部門大会オーガナイズドセッション提案のお願い(小豆澤委員長)
- 108-15 平成20年電気学会産業応用部門大会シンポジウム提案のお願い(小豆澤委員長)
- 108-16 委員会構成員変更(案)(小豆澤委員長)
- 108-17 新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会(NAD)活動報告(平田委員)
- 108-18 磁気支持応用における電気・機械システム融合化技術調査専門委員会(MLV)活動報告(森下委員)
- 108-19 産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会(MEL)活動報告(鳥居幹事補佐)
- 108-20 多自由度モータのシステム化技術調査専門委員会(MDD)活動報告(矢野委員)
- 108-21 医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会(ECD)活動報告(増澤委員)
- 108-22 第8回新世代の電気・磁気アクチュエータ調査専門委員会議事録(平田委員)
- 108-23 第4回産業用リニア駆動システムにおける要素技術の体系化調査専門委員会議事録(鳥居幹事補佐)
- 108-24 第4回医用アクチュエーション技術の体系化に関する協同研究委員会議事録(増澤委員)

議事

1 議事録確認

資料108-1を用いて議事録の確認を行い、承認された。関連して、小豆澤委員長より、5.1のNewsLetterへの投稿は必要ないことを確認したことの報告があった。

2. 報告事項

2.1 資料108-2を用いて、委員会名簿の確認が行われた。

2.2 資料108-3を用いて、小豆澤委員長より、第87回D部門運営委の報告があった。他学協会との合同、複数技術委員会にまたがる委員会の合同設置に関する規程の整備(見直し, 明確化)を行っている。関連して、研究会共催は著作権の問題があるので注意すべきことの確認があった。協賛の場合は問題はない。資料108-9を参照しつつ、電子図書館化についての説明が行われた。また、新領域研究グループ制度についての紹介があった。資料108-10の学会MLシステムの構築が完了したことが紹介され、LD技委の対応についての議論が行われた。現MLを管理している鳥居幹事補佐が試行し、

1年で問題を洗い出しつつ移行することとした。委員会の解散2件の審議があり、1件は保留となった。関連して、技術報告のオンデマンド印刷についての議論があった。将来を担う人材育成の強化を目的として、学生会員WG、企業若手会員WGを設置したことが紹介された。

2.3 資料108-4を用いて、北野副委員長より、7/24,25に鹿児島で開催予定のTER/LD合同研究会の案内があった。4月下旬が申し込み締切である。恒例の見学会は、ユートラム関連を予定している。

2.4 資料108-5を用いて、H19・20年度予定の確認が行われた。

(1) ECD委：4/30, 7/22, 10/22, 1/13の予定を追加

(2) 関連会合：4/17 科研シンポ(幕張), 5/12-15 CEFC2008(Athens, Greece), 7/6-10 ICEE2008(沖縄), 11/20-21 MAGDA コンファレンス(日立), 及び2009 5/20-22 電磁力シンポ(長野)を追加

2.5 資料108-6を用いて、村井幹事より、資料提出スケジュールの確認が行われた。

2.6 資料108-7を用いて、北野副委員長より、H19年優秀論文発表賞受賞候補者を本部表彰1名、部門表彰2名選定したとの報告があった。

2.7 資料108-8を用いて、矢野委員より、H20年D部門大会シンポジウム提案の原案についての説明があった。資料108-14,108-15に合わせて細部を調整することとした。

3. 審議事項

3.1 資料108-11を用いて、矢野委員より、MDD委の解散報告書2次案についての説明があり、審議された。整理委員会についての記述についての指摘があり、最終版をMLで審議することとし、承認された。

3.2 資料108-12を用いて、小豆澤委員長より、H19年度の活動報告案についての説明があり、細部の修正が行われた。

3.3 資料108-13を用いて、小豆澤委員長より、H20年度の活動計画3次案についての説明があった。MDD委とNAD委はNAD委の新設に合わせて統合することとし、MDD委の新設は行わないこととした。7月RM合同研究会はMEL委協賛とし、早急に先方と連絡を取り、進めることを確認した。これに伴い、技委直轄の研究会は6月から1月に移動する。見学会候補は引き続き探すこととした。

3.4 資料108-16を用いて、小豆澤委員長より、来年度よりの新委員長を脇若委員に引き継ぎたい旨が提案され、承認された。また、坂本委員から長崎大・樋口先生に交代予定であること、新幹事補佐を脇若委員が推薦することが提案され、承認された。その他の委員と論文幹事については、幹事Gに一任することとした。

4 各調査専門委員会活動報告

資料108-17～108-24を用いて、各調査専門委員会からの活動報告があった。

5 その他

次期委員長の脇若委員により、次回以降の日程調整が行われた。次回は4/4品川開催、その後の予定を7/18, 10/24, 12/12, 1/30とし、次回委員会で改めて確認することとした。

以上